記者発表資料

胸に刻もう
カスリン・アイオン台風７０年
～風化させない歴史とつなげる未来～

平成２９年１１月　９日
東北地方整備局
岩手河川国道事務所

花巻市東和地区における「水防災ワークショップ」を開催します

～　テーマ：「いつ、どう逃る？」　～

北上川上流洪水減災対策協議会では、北上川上流における大規模水害に対して「氾濫被害の最小化」を目指すことを目標に、市町、県、国が一体となって減災の取組みを進めています。

今回、花巻市東和地区において、地域住民自らが昨今の記録的大雨や集中豪雨等の気候や川に対する「防災情報」を知り、大規模氾濫時の避難行動について考える「花巻市東和地区における水防災ワークショップ」を開催します。

本ワークショップは、自助（住民）・共助（地域コミュニティ）・公助（行政）それぞれの取り組み内容や課題等を検討し、住民目線の対策の立案に繋げていくものです。

【場　所】東和総合支所　（岩手県花巻市東和町土沢８－６０）

【日　時】平成２９年１１月１３日（月）
１８：００～２０：００（２時間）

【参加者】花巻市東和地域住民約３０名

【内　容】・過去の災害について（体験談）
・水災害の特性を事例から学び、事象ごとに取るべき対応を「自分と家族」のために考える
・自分にできる防災活動と、それをだれに伝えるかを考える

≪発表記者会：東北専門記者会、岩手県政記者クラブ≫

＜問い合わせ先＞
国土交通省　東北地方整備局　岩手河川国道事務所
〒020-0066　岩手県盛岡市上田４丁目２－２
ＴＥＬ：０１９－６２４－３１６６（調査第一課直通）
副所長（河川担当）　三浦（みうら）　義昭（よしあき）（内線 204）
調査第一課長　岩沢（いわさわ）　博章（ひろあき）（内線 351）







第２回

平成 29 年 11 月 13 日（月）
18:00～20:00（2 時間）
テーマ「いつ、どう逃げる？」

場所：東和総合支所
１階 第一会議室

「どうすればいいの？」

まず台風・低気圧・ゲリラ豪雨の 3 つの事象に分けて、
命を守るために自分にできること、自分にできないことを考えます。
「自分」から「地域」という場に置き換えながら、できることを考えます。





家族構成や避難方法、避難ルート条件などを話し合い、
他の人の話を聞きながら自分の場合を考えていきます。

第2回目以降はどんなことをするの？



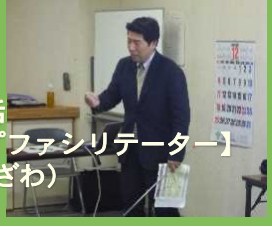


- 前回のふりかえり
- 過去の災害について（体験談）
- 水災害の特性を事例から学び、事象ごとに取るべき対応を「自分と家族」のために考える
- 自分にできる防災活動と、それをだれに伝えるかを考える

○進行役
ひろふみ
（佐々木）



少子高齢化のなか、水災害からどのように身を守るべきか、
それを継続するためにはどうしたらよいか？
皆さんで意見を出し合いながら、考えていきます。



○運営総括
【グループファシリテーター】
口澤（くちざわ）

参加メンバー	
	・土沢第 5 行政区自治会自主防災会（前郷、八日市場） ・土沢第 6 行政区東晴山自主防災会 ・土沢自治会自主防災会 ・グループホームなごみ ・鏑町自治会自主防災会 ・特別養護老人ホーム東和荘 ・安俵自治会　自主防災会 ・落合・小通　自主防災会 ・花巻市消防団 ・東和小学校

水防災に関するワークショップを開催しました

『避難する・防災力を育てる・地域を守る』ためにできること…

【岩手河川国道事務所】

北上川上流では地域の防災力向上を目的に水防災に関するワークショップを平成29年度より開催しております。今年度は花巻市東和地区を対象に地域住民が集まり、自然とともに生きていくために、気候や川に対する「防災情報」を知り、いつ、どう逃げるべき？なのか、避難行動について参加者で検討しました。

ワークショップ 概要

■開催区：花巻市東和地区
■開催日：平成29年10月24日(火)16:00～19:00
■対象者：花巻市東和地区住民 29名
■概　要：①ファシリテーター及び
　　各グループ内での自己紹介
②各班での話し合い
　・気象と河川の情報
　・地域特性の整理と
　　「自分だったらどうするか」
③各班からの発表



ファシリテーターによる進行

ワークショップ 実施状況





各班での話し合いの様子






各班からの発表

第2回ワークショップは11月13日(月)に「いつ、どう逃げる?」をテーマとして開催します

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　岩手河川国道事務所
〒020-0066　岩手県盛岡市上田四丁目2-2　TEL:019-624-3166　（課直通）